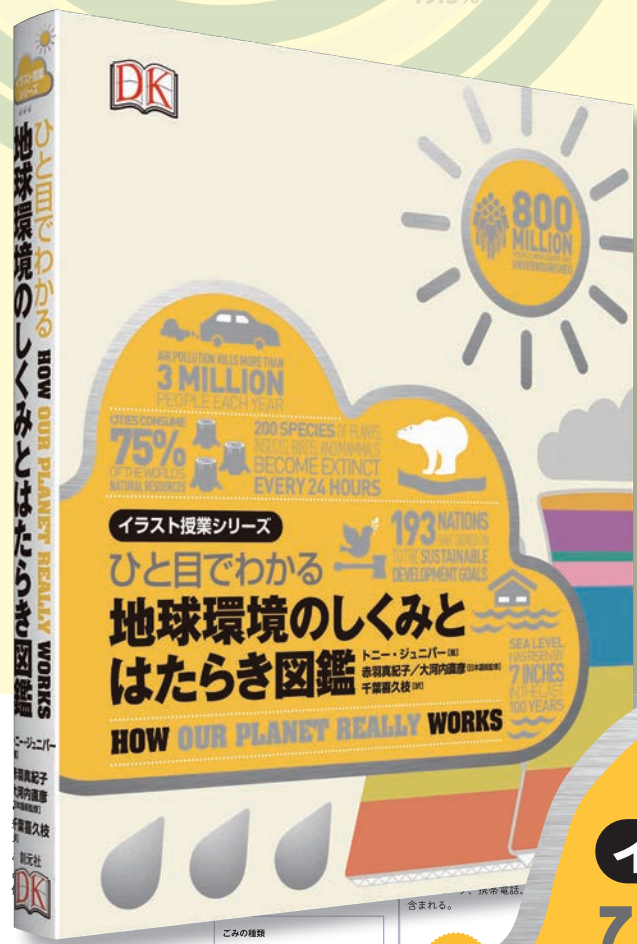
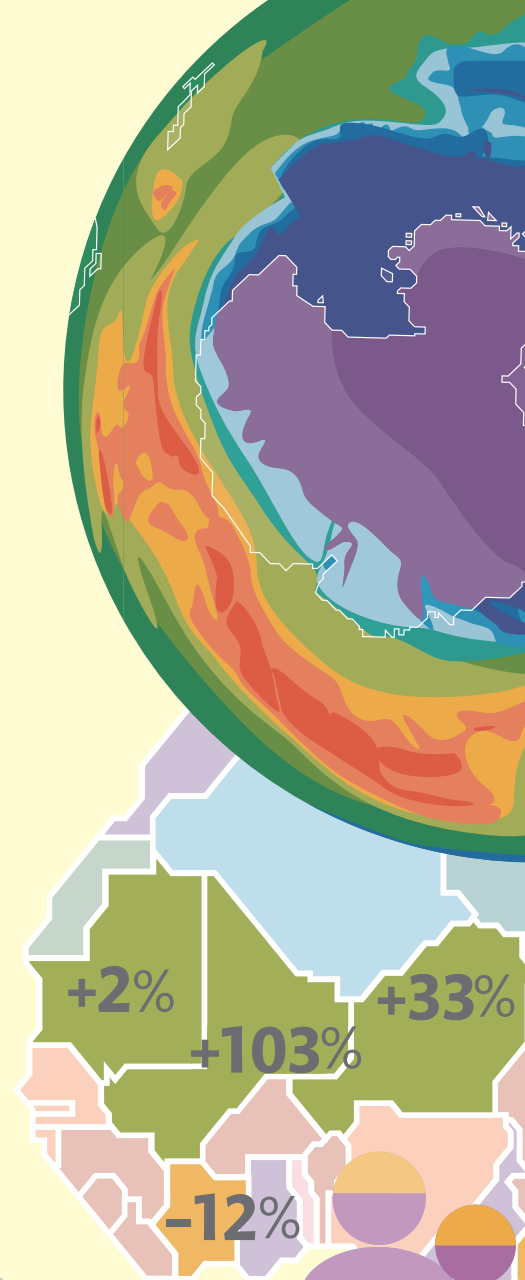


地球環境に 人間活動が及ぼす 影響を知ろう

大気や海洋の汚染、地球規模の温暖化など、地球環境の危機と保護の実際を学べるビジュアル図鑑。1テーマが見開きで完結するコンパクトな構成と、短いコラム形式のわかりやすい解説で、環境問題について総合的に理解できます。

何が起 こつて いるの？ わた した ちの 地球 で今、



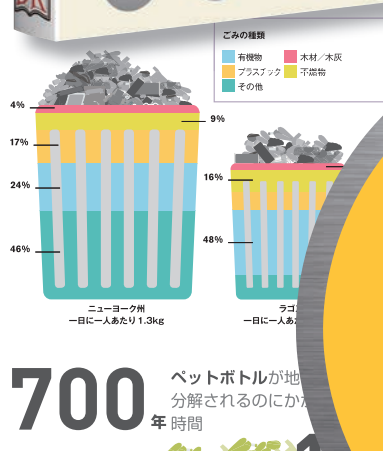
イラスト授業シリーズ
ひと目でわかる

2020年
8月
刊行

地球環境のしくみと はたらき図鑑

トニー・ジュニパー [著]
赤羽真紀子 / 大河内直彦 [日本語版監修]
千葉喜久枝 [訳]

HOW OUR PLANET REALLY WORKS



A4判変型 (234 × 195mm) ・ 上製 ・ 224頁 ・ オールカラー
定価 (本体 2,800円+税)

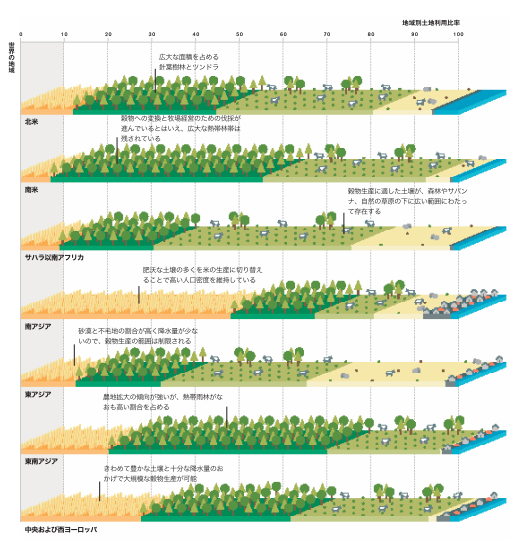


現在、世界の陸地のおよそ3分の1が農業に利用されている。だが、穀物を生産するために使われているのは、そのうちのおよそ4分の1だけである。残りの農地は牧畜を飼育するために使われている。

世界の陸地の大半は開き地におおわれているが、ほとんどが農業に適さない森林や草原地帯になっている。条件がよければ、農業は安定して発展し続ける。とはいえ、世界の生産に適した土地と十分な水資源は、世界全体で限られる。増える食料の需要をまかなうため、開いた土地と十分な水資源のある農地の土地までも、次々と農地へ変更させられている。その結果、森林破壊、野生動物の減少、気候変動が生態系を破壊し、気候変動、気候変動による土地の劣化が世界各地で起きている（74〜75頁参照）。

穀物 vs 肉類

食料を生産している世界の土地のおよそ3分の1は肉類と乳製品を生産する畜産を飼育するために利用されている。残りの土地は穀物と野菜を生産するために利用されている。畜産物の消費は中産層の消費の急激な増加に伴って伸びている。主な原因は経済成長で食料の嗜好が変化することと、この傾向は続いていく。人間が食べる穀物や野菜の生産のために開かれる農地は全体のわずか一部で、生産される穀物の大半は畜産の飼料となる。動物や、牛乳に飼料をおおわれた土地、牛も肉も畜産の放牧地に変えられる。

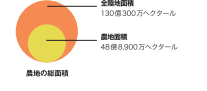


経年変化

過去200年における農業の拡大は劇的であった。1800年には農地の大半はヨーロッパの一部のアジアが占めていた。今日では農地はヨーロッパとアジア全体に広がり、南北アメリカ、アフリカとオーストラリアの大部分の地帯へと定着し、穀物と畜産の生産のために自然が生息が取り除かれた。

穀物の用途

世界では毎年およそ28億トンの穀物が生産される。米と小麦は主に人間によって消費されるが、トウモロコシの大半は畜産の飼料に用いられる。畜産畜産の飼料として供給される穀物は、人間が直接食べる穀物よりも多くの土地と水と化石燃料を使う。



世界の新たな目標

ミレニアム開発目標（1997年参照）は2015年で失効した。環境と開発にかかわるさまざまな課題に対応する2030年までの枠組みを設定し、もっと豊かな未来の基礎を築くための新しい行動計画が必要とされた。

1992年のリオ地球サミットで、世界は初めて持続可能な開発という目標の達成を誓ったが、世界の国々が、未来の世に必要なものをそそぐこととなく、現在の需要を満たさず、目標の中心をなす理念を達成しようとした。しかしその後も環境と気候の不安定を懸念して、社会分野の目標をめぐって経済成長や進歩が促進された。その後の2001年ミレニアム開発目標（1997年参照）が採択された。これは貧困と飢餓の減少を目指していたが、貧困をもたらした原因には取り組んでおらず、人権や経済の発展についても波及していった。2012年国連は「持続可能な開発目標（SDGs）」によってかたちとなる重要な目標は、一方を犠牲にして他方を発展させるのではなく、社会分野と環境分野で同時に成果を挙げるべきことである。

193の国が「持続可能な開発目標（SDGs）」に調印した

- 分野横断的に環境問題を学べる** 国際関係や社会経済システム、科学技術など、地球環境の危機をもたらす原因と相互関係を分野を越えて総合的に学べるから、環境問題全体の概要が理解できます。
- 写真を含むイラストで直観的にわかる** ダイナミックな自然循環のしくみや地球規模の問題の実態、各種の統計データなどを、イラスト、写真、グラフや表を含む数多くの図版で説明しているので、複雑な内容も直観的に理解できます。
- 情報がコンパクトで読みやすい** それぞれのテーマは見開き（2ページ）単位で簡潔にまとまっているので、興味に合わせてどこからでも、短い時間で読むことができます。
- コラム形式でさらに気軽に** 応用実践のための提案や内容を補足する統計データなど、各テーマは多彩なコラムを組み合わせた形で構成されているので、長々とした文章を読む必要がありません。
- 環境教育にも役立つ** 環境問題に関する多岐にわたる専門領域を広く扱い、イラストやインフォグラフィックでやさしく示しているので、環境教育にも活用できます。

本書の特徴

シリーズ既刊



創元社 <https://www.sogensha.co.jp/>
 (本社) 〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL(06)6231-9010(代) FAX(06)6233-3111
 (東京支店) 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2田辺ビル TEL 03-6811-0662(代)

(キリトリ線)

創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。書店ご不便の場合は直送もいたします。

【イラスト授業シリーズ】 ひと目でわかる 地球環境のしくみとはたらき図鑑		冊 申し込みます
ISBN978-4-422-40047-1 C0340		取り扱い店名
定価(本体 2,800 円+税)		
ご住所	〒	
お名前	フリガナ	
	TEL ()	